

< 業績名 >

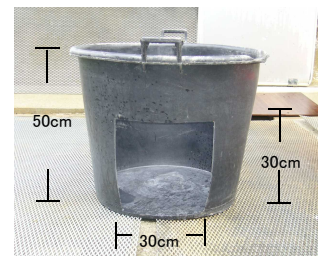
快適な授乳・哺育環境を実現するための簡易な分娩豚房附属機器の開発

< 創意工夫の内容 >

本県の養豚産業を取り巻く情勢は、以前厳しく、農家戸数・飼養頭数及び出荷頭数の減少に歯止めがかからない。その中でさらにPRRS等の複合感染疾病による子豚の損耗が農家経営を圧迫し、問題となっている。また、当センター内においても子豚の疾病や損耗率を抑えるため苦慮し、子豚の飼養・衛生管理の向上に多くの時間を費やしていた。このような課題を克服するため、候補者は授乳・哺乳中の母豚・子豚にストレスの少ない快適な環境を提供することで、子豚の自己免疫力を高め、疾病を防除する方式を提案し、簡易な飼養管理器材を考案した。考案した器材は以下の3点である。

1. 園芸資材(プラスチックプランター)を利用した簡易哺育保温箱

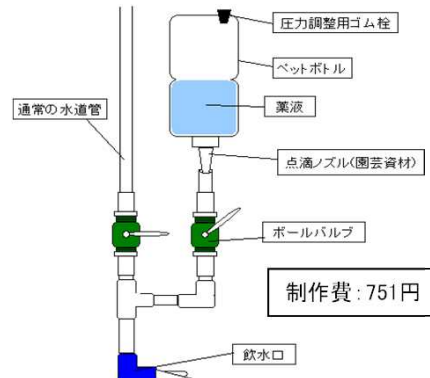
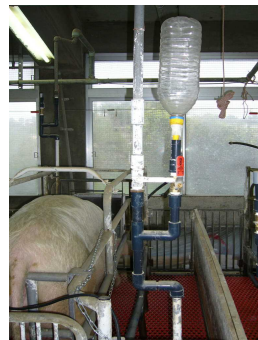
①毎日取り替えが可能のため、常に衛生的で下痢予防・温度管理に最適である。安価で軽い。



制作費:1,980円

2. ペットボトルとニ又塩ビを利用した簡易飲水投薬器

①注射ストレスを与えることなく、薬やサプリメントを飲水により投与できる。安価で取り付けられる。

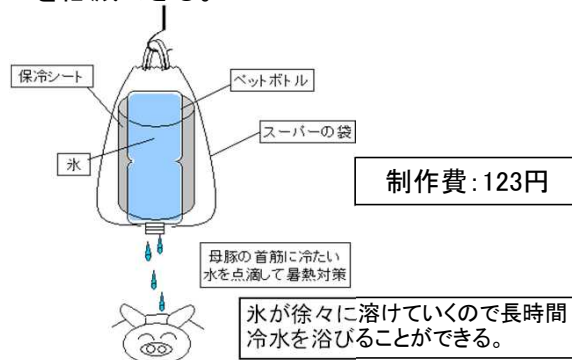
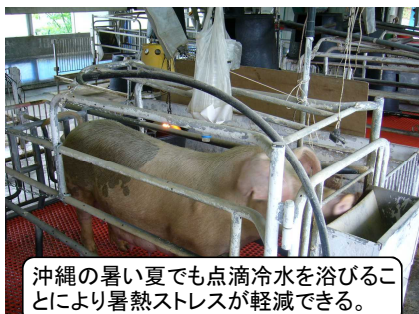


制作費:751円

【飲水投薬器の概図】

3. 凍結ペットボトルを利用した簡易解氷冷水点滴装置

①子豚の保温による母豚への暑熱ストレスを低減できる。
②安価・簡易・長持ち・効果が大きい。



制作費:123円

< 創意工夫の実績 >

- i. 子豚の疾病を大幅に減少し、子豚損耗防止に寄与した。
- ii. 衛生・看護の作業性が向上し、労力の縮減が図られた結果、斉一性の高い子豚が多くなった。
- iii. 母豚の産褥熱の減少・暑熱ストレスが低減され、泌乳・食欲が増加した。

< 担当者 >

農業技術補佐員 赤嶺圭作